



創立71周年



70周年キャラクター「ナナマー」



学びのエリア「エリア章」

令和3年7月21日
賢くなります学びのエリア
(赤二中、成増小、成増ヶ丘小)
板橋区立成増小学校
電話03(3930)0172
成増小学校ホームページ QR



成小だより

郷土愛

校長 小竹 厚

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置等、政府の方針が出されるたびに、板橋区教育委員会のガイドラインに沿って、この1学期、感染症予防を講じながら教育活動を実施してきました。保護者の皆様、地域の皆様のおかげで、本日1学期を終えることができました。心から感謝いたします。

昨年度は、年度初めに臨時休校があった関係で、夏季休業日は3週間と短かったですが、今年度は、例年通りの長い夏休みとなります。引き続き、緊急事態宣言下ではありますが、ご家庭におかれましても感染予防対策を十分に行い、充実した夏休みとなることを願っています。

さて、先週の7月17日の土曜日に道徳授業地区公開講座として、オンラインの講演会を開催いたしました。講師として、コミュニティ・スクール委員会の委員であり、成増童謡まつり実行委員会の会長でもあります、別府明雄先生にご講演いただきました。演題は「ふるさとを愛した童謡詩人清水かつら」で、清水かつら氏の作品を聞き、紹介していただきながら、童謡を通して伝えたかったものは何かを一緒に考え、清水かつら氏の思いに触れることのできた時間となりました。

皆さんは、童謡をお聞きになりますか？あるいはお聞きになりましたか？。私は、あまり多くの童謡を知っているわけではありませんが、小さい頃、父が手をつなぎながら「おて～て～つ～ないで～…」と歌ってくれたのをよく覚えています。その曲は親元を離れても頭から離れず、本屋に寄って童謡について調べ、その曲が「靴が鳴る」という曲名であることを知り、あらためてその歌詞を味わいながら読み返したことがありました。「靴が鳴る」は私の大好きな童謡です。1番の終わりあたり「晴れたお空に」と覚えていたのが、正確には「晴れたみ空に」だったことは後から知りました。その大好きな童謡「靴が鳴る」の作詞をされた清水かつら氏が、現在の和光市白子に住まわっていて、私がこの成増小学校に赴任したことに不思議な縁を感じました。ふるさとを愛した童謡詩人清水かつら氏が、生前、このあたりを舞台として生活をされていたと思うと、成増は素敵な地域だなとあらためて感じるどころです。

特別の教科 道徳には、内容項目として「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」があります。今回の道徳授業地区公開講座の全学年の共通の内容項目でした。授業は公開できませんでしたが、授業後の板書をHPにアップしていますのでぜひご覧ください。

ここふるさと成増は、あらためて目をむけてみると、様々新たな発見があります。夏休みは催し物が多い時期ですが、今年もコロナ禍の中、制限があつて中止となったものがほとんどでしょう。そうした中でも、遠くに行くことが難しい時期だからこそ、地元をあらためて見渡してみると成増の町には素敵だなと思えるものを発見できると思います。70周年の記念誌(副読本)もふるさと成増を見つめるいい資料となります。この夏休みは、親子で、ふるさとを思う心、郷土愛が育まれるような41日間となるといいなと思います。